

# デジタルスクリーンのススメ

## スクリーン印刷の新提案

2016年頃から加熱するキャンプブーム。その勢いは増すばかりで、空前の盛況振りと言えを知らない。そんななか、大のキャンプ好きが高じて、専用用品のガレージブランドとショップまで立ち

上げたのが、デザイナーの秋山大輔氏。この取り組みは、さまざまなキャンプ関連のメディアで紹介されるほど、業界内では多くの人を知る存在となった。その秋山氏の成長を右腕となって支えてきた

のが、理想科学工業のデジタルスクリーン製版機「GOCCOPRO QS200」。スクリーン印刷によるクラフト感あるオリジナルのキャンプツールは、これまでに多くのファンを魅了してきた。



デジタルスクリーン製版機「GOCCOPRO QS200」によってデザインされたキャンプ用品の数々。2020年6月にはオンラインショップもオープンした。金属や布地、木材など幅広い素材で、デザインから加工まで内製できるのは、理想科学工業の製版機があってこそだ



GOCCOPRO QS200

### ユーザーレポート DEVISE WORKS PRODUCTS

## 1人のキャンプ好きデザイナーが立ち上げたガレージブランドを成功に導いた GOCCOPRO QS200



DEVISE WORKS PRODUCTS 代表取締役 秋山大輔氏

相鉄線西横浜駅から徒歩5分ほどの藤棚商店街の入口に店を構えるアウトドアショップ「DEVISE WORKS PRODUCTS」。店内には、Tシャツや

アウトドアベスト、椅子、食器類などの小物を中心としたキャンプ用品を取りそろえている。同社は、これらを独自のガレージブランドとして展開し、2018年のオープンから3年が経過した現在、キャンプファンであれば、DEVISE WORKS PRODUCTSは誰もが知る存在と言っても過言ではない。

このショップに並ぶほとんどの商品は、パッケージデザインを得意とするデザイナーの秋山大輔氏が手がけている。自身も大のキャンプ好きで、一度森や山の川辺に赴けば、2週間は滞在するほど。そんななか、自らデザインした

キャンプ道具を使いたいという熱が日に日に増していき、ガレージブランドを立ち上げようと決意する。もちろん、思い入れの強いキャンプ道具をつくるのだから、デザインだけでなく製作も内製するのは自然の流れだった。「自分でデザインしたものを試行錯誤しながら作り上げるキャンプツールは、私にとって至高の一品です」と秋山氏はほほ笑む。

この内製化の要となったのが、デジタルスクリーン製版機「GOCCOPRO QS200」だという。秋山氏は手づくりならではのぬくもりのあるクラフト感が好きで、Tシャツ・ソファ・エプロンなど



内装からデザインまで、全て内製で作上げたという店舗。2階では、GOCCOPRO QS200が稼働し、オリジナルのキャンプ用品を生み出している

布製品へのオリジナルプリントはもちろん、金属製のキャンプ用カトラリーや木製品に至るまで、多彩な素材に文字・イラストを印字できるマシンを取り入れようと考えていた。さらに、「キャンプ用品ですから耐久性は外せません」と秋山氏。さまざまな方法を模索するなか、その全てを網羅できるスクリーン印刷という手法を知った。木製や金属製であっても電解マーキングによる化学反応で印字するため、多種多様な素材への対応力のもと、耐久性も飛躍的に向上するという。「孔版といえば理想科学工業さんです。早速、ショールームに足を運ぶと、デジタル製版による工程の大幅な短縮や、長年の実績にもとづく稼働安定性などを体感し、これしかないと思に至りました」

一般的に電解マーキングとは、スクリーンの版を使って、電気を通しながら金属に印刷をする手法。版の孔（あな）の部分のみ、電気が通って黒くなるため、任意のイラストを簡単に印字できる。秋山氏が導入したGOCCOPRO QS200

は、600×600dpiの高解像度がひとつの強みで、微細な模様や文字を細部まで再現可能としている。

さらにGOCCOPROシリーズは、PCからデザインデータを送ってプリンター感覚で直接製版できるので、作業工程を短縮可能。また、乳剤などの薬品や水を使わない製版方式「RISOドライ感熱スクリーン製版システム」によって暗室と水洗設備が不要なため、設備投資費も大きく減少する。オープン前で潤沢な資金を持たないなか、ショップに陳列させるオリジナル商品を取りそろえねばならない秋山氏にとって、全ての条件が合致していた。

秋山氏は「キャンプ場は他人の目に触れるため、ガラス張りのリビングとも比喻されます。であれば、やはり良いものをそろえたい、という理想を叶えるためにガレージブランドを立ち上げました。それを実現したのがGOCCOPRO QS200だったのです」と振り返る。導入から3年が経過した現在まで、故障や不具合は一切なく、理想科学工業製

品の稼働安定性を改めて評価していると目を細める。また、スクリーン印刷は初めての経験になるなか、さまざまなサポート体制にも助けられているという。「こんな色を出したいと相談すれば、特色インクであっても迅速に持ち込んでくれるなど、いつも感謝しかないですね」

ショップの工房では、電解マーキングだけでなくとどまらず、通常のスクリーン印刷によるTシャツやベストへのロゴ入れなども手がけている。2021年7月現在、GOCCOPRO QS200で製作されたアイテムは、鉄板料理用のヘラやコーヒーマル、ソファに至るまで、工夫次第でアイデアを形にできたというから驚きだ。

この状況に満足するのではなく、秋山氏はもっとGOCCOPRO QS200の性能を引き出していきたいと話す。「木や樹脂、革など、素材を選ばないスクリーン印刷の強みを生かし、レパートリーの強化を一層図っていきます。キャンプのガレージブランドと言え DEVISE WORKS PRODUCTS と呼ばれるようになれば嬉しいですね」



RISO デジタルスクリーン製版機の情報サイト  
【ゴッコプロフォーラム】  
<https://goccoproforum.net/jp/>



### お問い合わせ

理想科学工業株式会社  
プリントクリエイティブ事業部  
〒105-0004  
東京都港区新橋2-20-15  
新橋駅前ビル1号館4F

お客様相談室  
**0120-343-338**

受付時間 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00  
(土日祝日、夏期休業、年末年始を除く)

<https://www.riso.co.jp/product/digitalscreenmaker/goccopro/>